

松阪浄化センター自家発電設備更新工事が完成しました。

平成30年度より工事を進めてきた、松阪浄化センター自家発電設備の更新工事が完成しました。今回の工事は既設設備の老朽化対策として実施しました。

自家発電設備とは、停電時にも下水処理を継続して行えるように、ポンプ等の機械を動かす電気を作り出すための設備です。

更新した自家発電設備については、維持管理性や経済性など様々な観点から比較検討し、エンジン形式をガスタービンからディーゼルに変更したことにより、無給油での運転可能時間が約28時間から約55時間になりました。給油すればさらに長時間の運転が可能です。



今後の予定

引き続き、安定した下水処理が行えるように改築計画に基づいた工事を発注していく予定です。